



齋藤可奈さん

須賀川市在住
(深谷出身)

◆ありがとう

会津で5年間、看護学校を卒業してから看護師として働いています。会津中央病院に就職し、今は新人研修で1年間、須賀川の病院に出向になり、勉強しています。

働き始めて4カ月、分からないことばかりで日々勉強の毎日です。命を預かること、看護の大変さを改めて感じています。

それ以上に、仕事をする事になって、また改めて

父の大変さに気が付きました。学生の頃は、学費、家賃、携帯電話の料金合わせて10万円以上…それを毎月…

わがままを言って家を出て、好きなことをやって、そんな私を何も言わずに見守ってくれた事、感謝してもしきれないくらい。今の私がいるのは、父が頑張ってくれてたから!!

なかなか家にも帰れないけれど、たまに父がメールくれたりして…。まだまだ父に甘えてしまう事もあるけれど、私がつとしつかりして、早く父に楽させてあげたい。今まで迷惑をかけた分、親孝行していかないと!!

父同様、祖父母にも「ありがとう」と伝えたいです。そして母にも…。

直接はなかなか恥ずかしくて言えなかったけど…。最後に、

「お父さん、今度帰った時、また飲みに行こうね」

ごころの ぽけっと

「村の汗かき」

村では1年に1000人ぐらい人口が減っています。1年に1000人ですから単純に10年では1、000人です。人口減の対策の一つとして、村は「住宅づくり」と「職場づくり」などに力を入れています。

住宅づくりは、間もなく飯桶の笠石地区に住宅8戸が完成し、同地区の合計が20戸になります。臼石や深谷の住宅と合わせるとここ数年で34戸の住宅が建設されました。

「住宅をつくることは、家庭崩壊を進めるようなもの」という話がありますが、1人でも多く村に残っていただきたい一心での建設ですし、これから建てていく予定ですので、ご理解をいただきました

と思います。

職場の確保の方は、この不況ですから大変難しいことですが、1年前に村の施設である飯桶の柔剣道場の隣に株式会社「エヌ・イー・ティ」という会社を誘致できました。3人からのスタートでしたが、今は従業員数8人で、さらに職員の募集も行っており、増築の予定もあるようです。

また、「旧飯館産業」の建物を村で譲り受け、利用する企業を探していましたが、保原町の山崎メリヤス関連の会社が入るようになってきました。12月頃6人ぐらいでスタートし、ゆくゆくは30人以上にする計画のようです。

一人でも多くこの村に住んでもらえるよう務めているところですが、いい情報や意見、提言等がありましたら、遠慮なく聞かせてください。「厳しい時代だからこそ、知恵を出し、汗を流すチャンスがある」と考え、前を向いて進みましょう。

平成15年9月29日

飯館村長 菅野 典雄